

湯原王のまた贈る歌二首

六三五番

草枕くさまくら 旅たびには妻つまは 率みたれども くしげの内うちの
玉たまこそ思おもほゆれ

六三六番

我が衣あころも 形見かたみに奉まつる しきたへの 枕まくらを放さけず
まきてさ寝ねませ

娘子のまた報へ贈る歌一首

六三七番

我が背子せこが 形見かたみの衣ころも 妻問つまどひに 我が身みは放さけ
じ 言問こととはずとも